

2008 年度 委員会活動成果報告

(2009 年 3 月 31 日作成)

委員会名	骨材品質調査研究小委員会	主 査 名：清水 昭之
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：梶田 佳寛
設 置 期 間	2007 年 4 月 ～ 2011 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>最近の多様化する骨材事情の把握と、新たな骨材の基準化のための資料整備を目的とする。</p> <p>2007 年：JASS5 大改定に伴う再生・各種スラグ骨材の規格・基準の取り込みの見直しの検討、「人工骨材の技術の現状」刊行のための調整</p> <p>2008 年：上記継続</p> <p>2009 年：骨材品質のアンケート調査、新たな骨材に関する情報収集</p> <p>2010 年：「人工骨材の技術の現状」刊行</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	主査 清水 昭之(東京理科大)、幹事 阿部 道彦(工学院大)、伊藤康司(全生連)、井上和政(竹中)、嵩英雄(工学院大)、菊地雅史(明治大)、立屋敷久志(三菱マテリアル)、棚野博之(建研)、仁村誠二(大阪工大)、萩ノ谷克範(都市公団)、畑中重光(三重大)、藤木英一(メサライト)、真野孝次(建材試験センター)	
設置 WG (WG 名：目的)	人工骨材WG：最近の人工軽量骨材の動向を調査して、技術の現状をまとめる	
2008 年度予算	50,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	委員会開催日(参加者数)：本年度は小委員会としては開催せず、主として JASS5 改定小委員会の活動を個別に支援する形で、JASS5 の骨材関係の規定事項に関する検討を行った。JASS5 の改定作業が年末まで要したため、当初予定の人工骨材WGの活動は本年度実施できなかった。
得られた成果	1. JASS5 骨材関連の本文および解説の見直しの支援 第 4 節 コンクリートの材料 4.3 骨材の本文・解説の見直し 第 28 節 再生骨材コンクリート の本文・解説の作成 特別な仕様のコンクリートの骨材関係の規定の本文・解説の見直し
目標の達成度	委員会 HP アドレス： 2008 年度の計画の内、JASS5 の骨材関連部分の本文・解説を見直しの支援については当初予定の目標を達成できた。「人工骨材の技術の現状」については当初の目標を達成できなかった。
その他評価すべき事項	特に無し